

【地方創生支援】企業経営者と金融機関等との意見交換会の開催について

(京都財務事務所)

はじめに（開催趣旨）

金融庁・財務局においては、地域金融機関に対して、地域資源を活用した事業化や企業の生産性の向上等、様々なライフステージにおける企業の課題解決に向けた支援等を要請しているところです。

また、地方創生に向けた取組みにおいても、企業経営者は、創業・起業ならではの課題や悩み事等をはじめ、地域の現状・活性化策等についても様々なご意見を持っておられ、他方、地域金融機関においては、情報の収集・提供力の強化、政府系金融機関等との連携による支援が求められています。

こうした点を踏まえ、本会合では、企業経営者から率直なご意見等をお話いただき、地域金融機関等には自身が提供する創業・起業支援策等の説明や企業経営者へのアドバイスをいただくなど、双方向の意見交換を行う場を提供することを目的として、京都府福知山市において開催しました。

議事要旨につきましては、別添のとおりです。

1. 日 時

平成 28 年 5 月 18 日（水曜日）16 時 00 分～17 時 30 分

2. 場 所

福知山商工会議所 会議室

3. 参加者

（企業経営者）福知山市内の企業経営者（4 社）

（金融機関等）日本政策金融公庫、京都銀行、京都北都信用金庫、京都信用保証協会

（経済団体）福知山商工会議所、福知山市商工会

（地方公共団体）福知山市

（財 務 局）近畿財務局

4. 議事次第

- ・ 開会挨拶
- ・ 金融機関等から創業・起業支援及び企業の生産性向上に向けた支援などの取組み紹介
- ・ 企業経営者や経済団体から創業・起業に関する課題等（地域の課題を含む）
- ・ 意見交換

5. 主な意見等

- 金融機関等からは、創業・起業支援や地方創生に向けた取組みの紹介のほか、以下の発言があった。
 - ・ 創業は、いろいろな意味で地域の活性化に繋がるものであり、関係機関と協調しながら、力を入れて取り組んでいる。
 - ・ 通常の融資業務だけでなく、ビジネスモデル構築のサポートも行っており、必要に応じ、事業内容について需要があるのか、取引先へマーケティング調査を行っているほか、創業・起業支援に関わらず、販売先・事業パートナーの紹介等を行うビジネスマッチングに取り組んでいる。

- ・ 創業後も定期的に事業者を訪問し、事業計画が計画通りに進捗していない場合、身近な支援・アドバイスを実施するなど、適切な伴走支援を行っていく。
 - ・ 保証業務が主な業務であるが、創業期、成長期、衰退期のライフステージに応じた支援も行っている。
- 企業経営者からは、以下の意見や要望が寄せられた。
- ・ 地域の高齢化が深刻な問題。20年後、30年後を考えると不安を感じるので、地域の活性化に向けた取組みが必要ではないか。
 - ・ 田舎で開業しようとする、先ず、水道・下水道をどうするか考える必要があり、都会とは違う設備投資が必要になるため、何か優遇制度があれば、もっと田舎で起業する人も増えて、地域も活性化するのではないか。
 - ・ 地域に根差した経営をしていきたいが、10年後、20年後には、現在の事業だけでは経営が難しくなるかもしれないので、新規事業も検討していく必要がある。その際、金融機関が融資してくれるのか不安を感じる。
 - ・ 金融機関の担当者は、融資の相談にはスムーズに応じてくれるが、企業が困っていることについては、相談できる雰囲気にはなかったが、先程の金融機関の取組みを聞いて、ようやく金融機関の取組姿勢が変わってきたと感じる。
- 経済団体からは、創業・起業に関する課題（地域の課題を含む）に関して、以下の意見や要望が寄せられた。
- ・ 地方公共団体や金融機関をはじめとする関係機関が一体となって、開業時のみならず、その後の継続支援を行っていくことが必要ではないか。
 - ・ 経営者の高齢化による廃業等に伴い、事業所数は減少傾向にあり、地域経済の衰退に歯止めをかけ、地域を活性化させていくためには、後継者の育成や第二創業を含めた創業支援を行っていくことが必要ではないか。
 - ・ 金融機関と連携しながら、潜在的な創業ニーズを掘り起こし、地域経済の活性化に結び付けていきたい。
- 地方公共団体からは、創業・起業支援や地方創生に向けた取組みの紹介のほか、以下の意見や要望が寄せられた。
- ・ 創業時における補助だけでなく、販路開拓や雇用確保などの企業経営者の事業拡大や新たな事業展開に向けても支援を行ってほしい。

- ・ 本会合参加メンバーのネットワークも活用して、あらゆる機会において、地方公共団体の取組み（事業）を紹介していただきたい。

(以上)

意見交換会のイメージ図

